



2002年08月13日

フォルクスワーゲン新型ポロ、パサートW8の販売好調

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉)が、2002年上半期に発表した新型ポロとパサートW8の受注が、7月末現在で同社の予想を上回るそれぞれ約3,200台と、約300台を数える好調な滑り出しとなりました。

新型ポロは5月28日(火)に発表し、6月14日(金)より発売を開始しましたが、わずか1ヵ月半で約3,200台を受注し、年間の販売目標である1万台に対し、非常に好調な滑り出しとなりました。また7月末からは、車両価格178万円という価格競争力の高い2ドアモデルの販売も開始され、新型ポロの更なる拡販に貢献することを期待しております。

< 新型ポロのユーザープロフィール >

購入理由	「デザイン・スタイリング」「ちょうどよいサイズ」「充実した装備」「安全性」「価格に見合った価値」	
男女比率	男性:女性	40% : 60%
年齢層	男女共20-30代	60 - 70%
競合車	無し(指名買い)	46%
前保有車	国産車	46%
	新規・増車	30%

パサートW8は5月21日(火)に発売を開始しましたが、2ヵ月強の間に300台を超える受注をし、年間販売目標500台に対して、既に6割以上を達成する注文を獲得しております。

< パサートW8のユーザープロフィール >

購入理由	「価格が魅力的」「エンジンのスペック(W型8気筒エンジンがもたらす動力性能)」「4MOTION(4輪駆動)であること」	
年齢層	セダン、ワゴン共	40-50代 70 - 80%
競合車	無し(指名買い)	セダン35%、ワゴン21%
前保有車	VW	セダン29%、ワゴン36%
	他輸入車	セダン29%、ワゴン35%

2002年上半期のセールスは主力となる新型ポロの切り替えに伴い、前年比微減で推移して参りましたが、下半期にはこれらモデルラインアップの充実や、9月14日(土)富士スピードウェイにて開催される恒例のカスタマーイベント“VWフェスト2002”の実施などにより、更なるお客様満足度の向上を図り、今年後半のセールスに弾みをつけて参りたいと思います。